

経営発達支援計画・事業評価委員会議事録

魚津商工会議所

経営発達支援計画に基づき実施した令和5年度事業について評価委員会を開催しましたので、その概要を下記の通り報告します。

- 日 時 令和6年7月17日（水）10:00～11:00
- 場 所 魚津商工会議所ビル 4階会議室
- 出席者 岩井 均 氏（岩井社会保険労務士事務所 代表） 委員長
松本 健 氏（税理士法人CFO 代表社員）
中陳 和人 氏（中陳和人中小企業診断士事務所 代表）
大崎 敏治（魚津商工会議所 専務理事）
宮坂 康典（魚津商工会議所 事務局長）
事務局 石崎相談所所長 他5名

●議 題

（1）令和5年度経営発達支援事業実施報告について

事務局より地域経済の動向調査、経営分析、事業計画策定支援並びにフォローアップ、新たな需要開拓に寄与する事業に関して、支援内容や件数について報告。

件数については、前年度との比較による増減の理由について説明した。

また、新たな需要開拓に寄与する事業に関しては、東京での即売会や見本市への出店についてイベントの詳細、出店事業者の実績や出店後の進捗状況などについて詳細報告を行った。

（2）委員からの評価・検証（見直し案）

上記の令和5年度実施事業の説明を踏まえ各委員から下記の意見が述べられました。

- ・最近では売上が回復基調にある企業が増えてきている中、春闘などによる賃上げが行われており、更には6月から始まった定額減税による物価上昇などへの対応を実施しているが、実感がないのが現状であり、引き続き物価上昇が見込まれるので、企業の売上・利益増に寄与する事業に取り組んでほしい。
- ・K I T T Eでの即売会（販路開拓事業）における魚津市からの出展業者（3事業者）だけの客数や客単価を把握しているのどうか。それらを把握することで、同様の事業の際の販売商品の絞り込みに有効と思われるので、今後はそれらの分析をしてほしい。
- ・見本市出展については目標にしていた相談件数や見積件数などを大幅に上回る実績について、一定の評価をいただいた。商談継続中の案件については、引き続き支援をしてもらいたい。

- ・見本市への出店事業者の選定について尋ねられ、全国展開に対応できる事業者であつて、更には特色ある商品を製造販売している事業者を選定していることを説明した。事業拡大のチャンスであるが、生産体制が整えられるかが成約に至るか否かのカギとなる場合がある。
- ・生産体制を整えると同時に人手不足を解消するべく機械の導入について「中小企業省力化投資補助金」などうまく利用して、事業の発展に繋げてもらいたい。その為には商工会議所職員の支援が必要となる。
- ・人手不足に関して、深刻な状況に陥っている事業者が少なくない。年中募集していても、年中応募が無く、民間の求人事業者に有料で募集して雇用しても長く続かない場合は高い手数料を払うだけになってしまう。人手不足対策は喫緊の課題であることを認識し、商工会議所もこの課題に取り組んでほしい。

(3) 令和6年度経営発達支援事業について

昨年度と同様に経済動向調査や事業計画策定支援などを継続的に実施しつつ、新たな需要開拓に寄与する事業としても東京都で開催される即売会や見本市に市内事業者と共に出店予定としていることを説明した。

また本年は新たに販路開拓事業として、8月に富山市にて東京商工会議所が主催する「北陸グルメ商談会」に市内より4事業者を選定し、東京のバイヤー約40社との商談に臨むことを説明した。

以上

評価委員会

委員長 岩 井 均